



北浦っ子

令和3年度学校だより 11月号
11月21日発行
延岡市立北浦小学校 No12
文責：校長 甲斐 憲一

SDGsを広げよう！

最近、新聞やテレビで良く聞くようになった「SDGs（エスディーズ）」という言葉ですが、SDGsを簡単に説明すると『誰一人取り残さない持続可能な社会の実現を目指すために世界共通の目標に向かって取り組んでいく』ということです。その目標が右の表にある17の目標です。



- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 貧困をなくそう | 10 人や国の不平等をなくそう |
| 2 飢餓をゼロに | 11 住み続けられるまちづくりを |
| 3 すべての人に健康と福祉を | 12 つくる責任、つかう責任 |
| 4 質の高い教育をみんなに | 13 気候変動に具体的な対策を |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう | 14 海の豊かさを知ろう |
| 6 安全な水とトイレを世界中に | 15 陸の豊かさも守ろう |
| 7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに | 16 平和と公正をすべての人へ |
| 8 働きがいも経済成長も | 17 パートナーシップで目標を達成しよう |
| 9 産業と技術革新の基盤を作ろう | |

この目標は以前から社会問題として言われてきた問題も多く含まれており、このままほっておいては世界全体が大変なことになるかもしれないと捉えさせるうえで、とてもわかりやすい目標だと思います。これから生きていく未来の人々のためにも、一人一人このようなことを意識して生活することはとても大切なことだと思います。子供たちもSDGsについて学び、理解し、17の目標のうち一つでもいいので、自分でできることを行ってほしいと思います。

先日本校を卒業した延岡星雲高校3年生3人が北浦海岸のゴミ拾いを行っている記事がありました。まさに「14 海の豊かさを知ろう」の目標に向け、素晴らしい取組を行っています。先輩を見習って、海の清掃などにも取り組みたいと行動を起こす子供たちが出てくることを願っています。

また、家庭でもゴミの分別やリサイクル、食べ物を残さない、誰にでも優しくする、ゴミを捨てない など、たくさん取り組めることがありますので、是非、子供たちと話す機会を作っていただければと思います。

今週は「ぱくぱくぺろりん週間」でした。毎日の給食の残量を量って、放送で子供たちに知らせています。

11月16日（火）の給食残量

○ミルクパン 30g	○トマト鍋 830g	○フレンチサラダ 390g
○牛乳 0g		

トマト鍋とフレンチサラダの残量は、5人分程度の残量だそうです。日頃から北浦小の残量は少ないそうですが、残量0gを目指して、頑張してほしいと思います。

まなぶ農園へ レッツゴー！

11月4日、1・2年生が「まなぶ農園」にスクールバスに乗って見学に行きました。まなぶ農園には、やぎやたくさんの鶏が飼育されており、子供たちは興味津々のようでした。鶏は毎日たくさんの卵を産んでおり、実際に産んだばかりの卵を触ることができ「あったかいな」とか、いろいろな気づきがありました。鶏にぼんぼん草のえさをあげたり、親鳥やひよこを実際に触ったりもしました。とてもいい表情で見学することができました。

見学後には、農園を運営している松原さんに「鶏は何羽いるんですか？」「何を食べるんですか？」「米はどのくらい食べるんですか？」とか、一生懸命いろいろな質問をしていました。とても楽しい時間になったようです。

このような貴重な体験をさせていただいた松原様、いつも学校へのご支援・ご協力ありがとうございます。

登校時での発見！

朝の登校時に子供たちはいろいろな発見をしています。先日1年生の広静君が、浜王水産前の落石防止のフェンスの中にトンビを見つけました。フェンスの上のスペースから、誤って下の方へ落ちてきた感じで、まだ元気そうでしたが、フェンスが邪魔になって羽ばたくことができず、じっとしていました。良く見つけたなと思うくらい近くに行かないと分からない感じでした。土砂でふさがっていて助けるのが難しいなと思って、その日は、あきらめましたが、翌日「トンビは生きてる？」と広静くんから聞かれ、2人でトンビの様子を見て元気そうだったので、ちょっと役場に聞いてみるねということになりました。私が連絡をするとすぐに対応していただき、担当の方がとんびを救出してくれました。その話を広静君にすると安心した感じでした。心やさしい子供たちが育っているなとうれしく感じた瞬間でした。いつかトンビの恩返しがあるかもしれないですね。笑

また、グラウンドのフェンスには「のぶどう」がなっていて、様々なカラフルな色の実がなっていて、子供たちは手で触ったりして登校しています。食べるには適さないようですが、葉っぱは漢方薬になるそうです。

季節ごとに変化する動植物に興味・関心をもつことは人の成長にとってもよいことだと思います。自然の変化に気づき、自然を大切に思う子供たちがもっと増えてほしいですね。



【ニワトリのだっこ】



【産卵したばかりのたくさんの卵】



【学校のフェンスにあるのぶどう】

